群馬板金広場
（群馬県シートメタル工業会会報）
2008年1月 発行
vol.15

GSMP
群馬県シートメタル工業会
GUNMA SHEET METAL PLAZA
http://www.gsmp.gr.jp

発行人
岡部 浩章
発行
群馬県シートメタル工業会事務局
〒370-0801
群馬県高崎市上並榎町342
TEL 027-362-3500
FAX 027-361-3066

## ご挨拶

群馬県シートメタル工業会
会長
**岩本 博**
（株式会社 太田治工）

新年明けまして、おめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、穏やかな新年を、お迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて昨年の経済情勢は上半期は、比較的穏やかに推移しましたが、後半アメリカのサブプライムの破綻そして、6月の建築基準法の改正による建築確認の厳格化による建築確認の大幅な長期化により、住宅着工件数の大幅減少の影響による景気の減速が心配されております。

また工業会の活性化と魅力ある工業会作りを目指し全国組織の連携を深めるため、平成18年11月11日の全国工業会代表者会議により結成された全国工業会・正副会長会も軌道に乗り去る11月17日の正副会長会には福岡県シートメタル工業会より人材育成事業として板金図面検定試験制度の構築の発表が有りました、板金図面の展開セミナー講習・受講生のレベルアップを図るため、板金図面検定試験の実施・テキストの試験問題等アマダスクールの全面的協力により、3年間で完成したとのことです。この制度に全国の工業会の参加を呼びかけられました、技能検定と共に板金図面検定制度が定着すれば素晴らしい事です。

群馬県シートメタル工業会もこの板金図面検定にチャレンジしたいものです。

今年も環境の変化に柔軟に対応して明るい年になるよう、そして会員各社のご繁栄と皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

## ご挨拶

株式会社アマダ
取締役相談役
**天田 満明**

謹んで新年のご祝辞を申し上げます。また、会員の皆様には平素より工業会活動に格段のご高配を戴きまして、厚く御礼申し上げます。本年もより一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

さて、昨年の日本の経済環境は、数年前からの世界的な原油価格の高騰、米サブプライムローンの焦げ付き問題に端を発した株式市場の混乱、ユーロ高・ドル安の延長線上での円高等、今後の景気動向に対する先行き不安を引き起こしかねない要因が目につく一年でありました。特に原油については、中国で必要とする量が2004年に日本の需要量を上回って以来、2010年にはその倍の数量が予測され、今後の需給逼迫による原材料や物価の上昇への対応策も考えておく必要がありそうです。

そのような環境の中、11月に静岡で開催された技能五輪国際大会では日本が金メダルを53のうち16個獲得するなど、技術力の高さを示す結果となりました。製造業の市場規模が全国で上位10位以内であり、モノつくりの県として知られる群馬県で板金業を営まれている皆様にも、その高い技術力に自信と誇りを持ち、金属加工における板金加工という分野の一層の発展に向け更なる研鑽をお願いする次第です。

昨年、弊社は7月に静岡・富士宮の地に新たに開発センターとレーザー専用工場を開設し、工業会役員の皆様を皮切りに全国のお客様にご来場いただきました。また、フロントローディング開発第一弾であるLC－F1NTを11月に発表させていただき、貴工業会の会員の皆様からも貴重なご意見をお伺いすることができました。心より御礼申し上げます。

最後になりましたが、貴工業会及び会員企業皆様のますますのご発展を祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 会員紹介

## クシダ工業株式会社

代表取締役社長　串田 紀之

私どもクシダ工業株式会社のご紹介をさせていただきます。

弊社は昭和28年の創業で今期55期になりますが、これまで一貫して電気計装技術を核とした総合設備工事業を展開してまいりました。現在はエンジニアリング事業本部と制御システム事業本部の2つの事業本部により事業運営をしています。

エンジニアリング事業本部では電気、計装、空調給排水、上下水道などの総合設備工事を行っています。

制御システム事業本部では高圧受配電盤、制御盤、分電盤、監視計装盤などのいわゆるカスタム配電盤と監視制御システム、計測通信機器などの産業用システム機器を自社ブランドで製造販売しています。

製造工場は高崎市の八幡第2工業団地にあり、板金・塗装・組立の一貫生産ラインを稼動させています。カスタム配電盤はその名が表すように、個々のお客様に最適なカスタムメイドの製品を供給します。少量多品種での製造のため、特にキャビネットなどの板金製品や部材の製造管理が煩雑になり製造効率が悪化しがちになります。板金・塗装を外部発注し自社では組立のみに特化している同業他社が増えています。弊社ではお客様から信頼されるカスタム配電盤の製品作りには板金・塗装・組立の技術力確保が不可欠であると確信し、生産設備と技術技能の充実を図ってまいりました。現在では特に板金・塗装工程はほぼ100%の内作率になっています。

また弊社ではこれまでISO9000および14000を認定取得し運用管理してまいりましたが、ISO9000・14000の目指す品質・環境・安全のすべての側面でお客様の満足が得られる活動が経営そのものであると位置付け、このたび、二つのマネジメントシステムのマニュアル・手順書等を統合化し、品質・環境の統合マネジメントシステムを構築し新たに認定取得し運用開始いたしました。原材料価格の高騰、公共事業の削減による競争の激化、配電制御システムの高度化・多機能化への対応、団塊世代の引退による技術力の低下など、事業を取り巻く環境は大変難しい状況です。このような状況下であるがゆえに、組織・個人の力量の確保が不可欠であると考えます。技術職関連だけでなく事務職や営業職のマニュアル化、職種・キャリア別の計画的な教育システムの構築を現在計画しています。

シートメタル工業会では他の会員の方々との様々な情報交換が出来ることを期待しております。また、工場・建物設備の自動化やシステム化をご計画の際は是非ともご一報くださいますようお願い申し上げます。

## 株式会社富岡富士製作所

専務取締役　奥田 浩司

弊社は昭和39年、医療機器の板金部品を製造するのを目的に、東京・三鷹から群馬県富岡市に派遣され、工場を作り、独立したのが始まりです。それ以来、多くのお客様のご要望にお応えするため、先端の設備と熟練の技術者を揃えてどんな仕事も受け入れるべく仕事に取り組んでまいりました。

いろいろな波を受けながらも何とか順調に推移しておりましたが、ここ数年の中でこれまでにないような大きな危機を経験し、それを乗り切るために改めて営業活動に力を入れ、これまでにはできなかった仕事にも挑戦し、生産体制の改編も行ってきました。営業面ではようやく種が芽を出し始め、来年以降は良い方向へ向かうのではないかと少しずつ期待が持てるようになってきたところです。つらいことも多々ありましたが、厳しい状況の中で弊社の持つ可能性と課題がよく見えるようになってきたのは今後の我々にとって大きな財産になると思います。こんなことがなかったら関わることもなかったような人や知識にも多く出会い、様々なアドバイスをいただきました。

まだまだ環境はめまぐるしく変わっていきますが、会社の土台の部分を見失わないように真摯にステップアップに取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

## 株式会社ナガヌマ

代表取締役社長　小泉 雅章

株式会社ナガヌマ、小泉と申します。

この度工業会での会員紹介という事でご挨拶させて頂きます。

弊社は昭和39年に先々代社長長沼利英により伊勢崎市にプレス加工を中心に産声をあげた会社であります。その後数十年の長きに亘り精密板金加工業を営み、当会員の皆様またお客様に恵まれ、いち板金屋として今尚存続させて頂いている事を感謝しております。

弊社は大手電気機器メーカー様を中心に受注加工100パーセントの会社であり、近年はプレス加工から多品種少ロットの板金加工に社内設備を移行し、何とか同業他社様に肩を並べようと躍起になっている毎日であります。

私自身、先代の急逝に依るいきなりの代表就任に当初戸惑いばかり、現場作業を中心としていた生活が一変、会社を経営するとはどういうものなのか、何処からどう手をつけたら良いものか全く判らず思案する毎日でした。

しかしながら当会に在籍されておられる諸先輩方の数々の心温まるアドバイス、時には厳しいお言葉の叱咤激励のお陰で今は迷う事無く会社経営に邁進しております。

これからも弊社は「単なる弱小集団ではなく、個性溢れる集団であり企業でありたい」を合言葉に板金業に励んで参りたいと思っておりますので、今後とも会員の皆様のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

## 株式会社阿部製作「年初の憂い」

代表取締役社長　阿部 浩則

年頭に当たって企業経営者の方々は新年度の方針を発表なさいますが、皆さん立派な内容なので感心するとともに、私自身はこの時期毎年思い悩みます。中期計画を立てられて方針が決まっている企業さんもいらっしゃいますが、原油価格の高騰など外部要因も不安定な中で、ますます長期的なスパンで物事を考えにくい状況にあります。また、理想と現実のギャップに苛まれる事も多々あります。しかしながら着地点が分からなければ離陸することもできません。目標を明確にし、さらには何のためにそれを目指して努力しなければならないのかを情熱を持って社員に語っていくしかありません。皆さんはどのようにお考えになっていますか？　いずれにしても、節目があるのは良いことで新しい気持ちで望むことができるのは大切な事かなと思います。当たり前のことですが、小さなことからコツコツと、結局、一年一年が勝負だと思っています。

# タナベゼミ

## 株式会社モハラテクニカ

小林　彩

10月6日に開催された、タナベゼミに参加させていただきました。板金の曲げについて勉強しました。仕事でプログラムを作っていますので、曲げの伸びについての知識は持っていましたが、今回新たな発見がありました。「ブラックボックス」という考え方です。曲げの伸び部分で、両面の重なる部分をブラックボックスとします。丁寧に説明していただき、この考え方はとても分かりやすいので、すんなり理解することができました。今後、この考え方を仕事に生かしていきたいと思います。

概念図の書き方も勉強しました。概念図を書いたのは初めてでした。展開図は初めから板が重なっているので、理解しずらい部分も概念図は板をずらして書くので分りやすかったです。又、伸びの概念を学び、伸びを計算するための条件は、板厚、材質以外にもあることを知りました。材料メーカー、材料のロール目、金型の磨耗など並べればきりがないほどです。普段は、伸びをシンプルに考えてプログラムを作っていますが、本当は奥が深いものなのだと思いました。

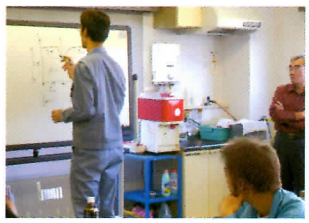
今回のゼミで、曲げの伸びについての基礎をしっかりマスターすることができました。今まで、曖昧にしてきた部分を、確実に理解することができ、よい勉強になりました。

## 株式会社モハラテクニカ

斉藤　恵

今回、勉強会に参加させていただき、タナベ鉄工の田辺社長から曲げに関する講義を受けました。箱物などの製品を自由自在に作るうえで、曲げによって発生する伸びという概念を知ることが大切だとのことでした。曲げの伸びを出すには大変難しい計算を必要とし、また材質、板厚、金型の磨耗などあらゆる条件が関わり近似値しか出せないそうです。しかし、それでも製品を作らなくてはならない為、簡単な計算で作れるように概念を学びました。それは曲げる前と曲げた後の差で伸びを知るということでした。製品により曲げの角度、材質などが違っても実際に曲げてみることで、伸びを知るにはこの方法が一番正確なものだとあらためて感じました。ただしこの時正確に寸法を測ることが大切で、曲げの角度によっては測りづらい物があります。ここで田辺社長が考案したケンメジャーは、測る製品の角度に合わせてメジャー部分が動くもので、我社でも大変重宝してるとのことでした。そして、その伸びを曲げのブラックボックスとして捉え、概念図から展開図へと応用していきました。ブラックボックスを用いた概念図は、何となく知っていた曲げると伸びるという考えを大変わかりやすく表し、理解することができました。

実際に曲げる作業をする機会はないと思いますが、この先様々な曲げを必要とする図面を目にすることがあると思います。この考えを参考に展開図へと発展できれば、正しい材料取りなど様々な面で役立てると感じました。



# 若手社員研修会

## アマダマシンツールプラザ見学

株式会社吉田鉄工所　機工部　登坂　聡

この度、平成19年度若手社員研修会に参加させて戴き、アマダマシンツールプラザにて知能化・自動化をコンセプトにしたモデル工場を見学させて頂きました。

「知能化工場」をテーマに、スケジューリングの見える化・知能化、そしてプログラム作成の知能化・自動化を中心に、1歩進んだ近未来的な工場や、「工程内付加価値の向上」をテーマに、成形加工、曲げ加工、バリ取り、タップなどの工程の集約化、バラシ、仕分け作業の自動化が可能な加工機などを見学する事が出来ました。近未来の板金工場として理想的な工場と感じました。

感想としましては、人によるコスト、品質を設備の力でカバーをし、より高品質、よりローコスト、短納期に対応していくかを確認する事が出来ました。又、工程不良など人的ミスを無くす技術を持つ製品を数点見させて頂きました。それらの考え方を自社で工夫してやれば工程不良を無くす事も可能かもしれないと感じました。

まずは行動をおこして理想的な工場に少しでも近付く様に積極的に改善活動をして行きたいです。

## 三波工業有限会社　代表取締役　荒木　義人

昨年9月30日(日)、太田市の鳳凰ゴルフ倶楽部にて第9回親睦ゴルフコンペが開催されました。

当日、私の日頃の行いが悪いせいか生憎の雨。(心当たりのある方もいたのでは…)　しかし今回の親睦コンペは岩本会長を始め、幹司様が趣向を凝らし女子プロの方々を招いての又とないプレーでした。7名のプロにご参加いただき、「どのプロと同組になるのだろぉ?」と楽しみにしていた結果、井田紀子プロとご一緒させていただきました。

いよいよスタートの時。そんな時でも流石にプロともなると見せてくれます。打順を決めるクジでオーナーを引くと、その後の第一声で「全ホール、オーナーをしますので悔しかったら実力でオーナーを取ってくださいね!!」との、可愛い顔からは想像も付かないきつい言葉の洗礼を受けスタートしました。

最初、何ホールかは多少の緊張もあり言葉少なめでしたが、サムでご一緒させていただいた、小野製作所の小野社長、モハラテクニカの茂原工場長に場を盛り上げていただき楽しいプレーが出来ました。終わってみればアウト42、イン46のグロス88。超悪天候の中、サム、井田プロのアドバイス、ハンデに恵まれ、ベスグロ優勝させていただきました。

振り返ると第1回から参加させていただき、諸先輩方を始めとした多くの同業の方々と知り合えたことは、私にとって素晴らしい財産です。今回もGMタイセーの笠原様など若い方の参加もあり新鮮でした。

今後、益々の一般会員様の参加が増え、新しい親睦の輪を広げていけたらと思います。

# 2007年度10月〜2008年度2月 活動軌跡

## 2007年

**平成19年度**

9月 7日 〜9日　国内研修会（九州）
9月 8日　検定前学科講習会（伊勢崎市民プラザ）
9月21日〜23日　パワーアップ研修（朝霧スクエア）
〜効率的な生産活動の進め方〜
9月30日　第9回親睦ゴルフコンペ（鳳凰ゴルフ倶楽部）
10月 6日　タナベゼミ（タナベ鉄工）
10月13日　検定前学科講習会（伊勢崎市民プラザ）
10月20日　安全又は衛生のための特別教育（グンゴー）

10月24日　第57回役員会（東毛産業技術センター）
10月26日〜28日　リーダー研修（朝霧スクエア）
〜人間関係とヒューマンエラー〜
10月27日　若手社員教育（アマダマシン見学）
11月17日　工業会正副会長会（フォーラム246）
11月17日　検定前学科講習会（伊勢崎市民プラザ）
11月24日〜25日　技能検定前実技講習会（機械板金）（協和工業）

11月30日〜12月2日　フォローアップ研修（朝霧スクエア）
〜生き残りをかけた経営革新〜
12月 1日〜 2日　技能検定前実技講習会（NCT）（協和工業）
12月 5日　第58回役員会（福一）

## 2008年

予定
1月　板金加工通信講座第三期開講
1月17日　賀詞交歓会　第59回役員会（ウェルシティ前橋）
1月19日　技能検定実技（機械板金）（協和工業）
2月 3日　技能検定学科（職業能力開発協会）
2月 9日　技能検定実技（機械板金）（吉田鉄工所）
2月15日　技能検定実技（機械板金·NCT）（太田治工）
2月16日　技能検定実技（NCT）（協和工業）
2月　現場作業者の為の実習教育〜第4回スポット溶接ゼミ〜
3月　第60回役員会

## What are you interested in?

### 我をのぞき見て ——— 臂　友幸

青年期に過ごした文学の中で育んだ精神史は、私をバルビゾンの人々により描かれた農村に似た、赤城山の麓の赤芝、大正期·昭和初期の若きキリスト者が愛した、たおやかな自然の中へ誘っていた。その時、愛していたのはJ·F·ミレー。最初に買い求めた絵画は「家路をたどる少女」（写真①）見るたびに心に平安を覚える。

銀座のブロードウェイギャラリーの寺西社長から、一枚の作品を勧められた。「開拓地の少年」（写真②と③）暗く、寒く、貧しく‥‥。苦難を表現する言葉全てが内在したマチエール。少年の健気さだけが光っていた。まさにキリスト·イエスの光、クリスマスの光だった。一枚の絵画に出会ったと思った。作者は澤田文一。「美」との出会いはいつも、意外な自分との出会いでもあった。

五·六年前に、伊勢崎市の相川考古館で、私のコレクションを展示したいと言ってきた。
裸を人前に晒す様で恥ずかしく、「H氏のコレクション」としてもらった。絵を並べて見て、自分は何に感興を誘われ、どんな「美」の感覚を持っているか、面白かった。

我をのぞき見る時、意外性の中に「美」はいつも必然性を持った通奏低音の様に、心の安定を保っているのだろう。澤田文一氏の絵画に、我が心の原風景を垣間見るのである。

## 編集後記 ——— 07年11月某日「小事大事」

今年も残り僅かになってきました。本年も会員の皆様には大変お世話になり有難うございました。

世の中には、そんな大きな話題にならない小さなニュースでも世界の歴史の変化を象徴するような小さな出来事ってあります（NHKの「その時歴史は動いた」みたいな…）。今年、私が個人的に現場で感じた、考えようによっては小さな事ですが、大きな出来事を2つ紹介します。

1つは、今年1月中国の人民元が、香港の香港ドルの貨幣価値を抜いた、香港ドルを100ドル持って中国で人民元に両替すると、今までは110人民元とか105人民元貰えたのですが、今年早々から95人民元位しか貰えなくなりました。香港返還10周年節目の年の出来事です。

2つ目は、11月米国に行って気付いたのですがアメリカでガソリン代が水より高くなった、という事です。車社会のアメリカでは従来水よりガソリンの方が安いと言うのが定説でしたが、これが覆されました。世界的原油高の中、アメリカでもリッター当100円となっていました。10年前は50円もしなかったと言うのが私の記憶です。アメリカ社会·家庭への打撃は相当のものだと思います。以上を纏めて考えると、中国の経済力が一層ついてきた事、一方アメリカの今後の景気により不透明感が出てきた事、と言う事になるかと思います。　（岡部浩章）